

# ALIVE

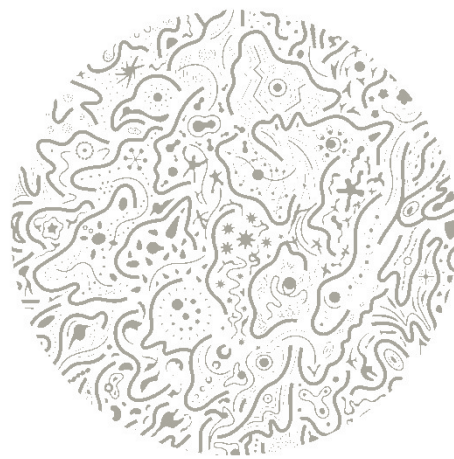
All Life In Viable Environment

## 平成24年度年次報告書

2012年4月 - 2013年3月

当会の活動は会員・寄付者の皆様からのご支援により支えられております。皆様からの貴重なご支援を役立てさせていただいた活動並びに会計等について簡潔ではありますが、ご報告いたします。

後段でご説明させていただきますが、動物福祉向上のための具体的な実績を積み上げていくため、運営体制の大幅な改編・強化を行っており、平成25年度以降、活動量急増が見込まれますので、ますますのご理解とご支援をお願いいたします。



# 平成24年度会計報告

当会の活動をご支援くださっている会員及び寄付者の皆様に感謝いたします。

### <経常収入の部>

1. 会費収入	6,036,060
2. 事業収入	
(2) 動物問題研究・啓発事業	26,900
(3) 動物福祉推進向上及び啓発事業	4,185,955
・寄付金収入	12,425,320
・その他収入	42,112
<b>経常収入計</b>	<b>22,716,347</b>

	定期刊行物誌 等発行事業	動物の福祉 推進向上事業	動物問題研究 ・啓発事業	研究調査 助成事業	管理部門
<b>事業 内容</b>	年4回の会報の発行	パネル展の実施 リーフレットの作成 迷子札フォルダの製作 など	動物行政の現状調査 調査報告書の作成	動物問題解決に向け て有益となる活動の 助成(ALIVE基金)	法人の運営に係る 基礎的な維持管理 部門

### <経常費用の部>

	定期刊行物誌 等発行事業	動物の福祉 推進向上事業	動物問題研究 ・啓発事業	研究調査 助成事業	管理部門
1. 人件費					
給料手当	1,053,197	583,345	1,019,888	323,179	1,063,029
法定福利費					352,770
<b>人件費計</b>	<b>1,053,197</b>	<b>583,345</b>	<b>1,019,888</b>	<b>323,179</b>	<b>1,415,799</b>
2. その他経費					
外注費					402,682
旅費交通費	5,493	9,700	161,705		385,070
会議費					4,623
交際費					23,576
通信費					341,241
荷造運賃		653,879	9,062		307,230
事務用品費					86,691
消耗品費			22,840		97,048
新聞図書費			490,995		52,780
水道光熱費					125,299
賃借料					2,328,000
リース料					605,334
保険料					18,370
租税公課					84,409
支払手数料		310,000	40,176		1,186,197
調査費		236,732	1,120,541	150,223	
会場費		71,690	2,000		
製作費	2,832,801	1,792,975			
保管管理料		334,000			
印刷費	855,674	623,250	129,810		
雑費		198,080	150,460		101,638
<b>その他経費計</b>	<b>3,693,968</b>	<b>4,230,306</b>	<b>2,127,589</b>	<b>150,223</b>	<b>6,150,188</b>
<b>経常費用計</b>	<b>4,747,165</b>	<b>4,813,651</b>	<b>3,147,477</b>	<b>473,402</b>	<b>7,565,987</b>

<b>経常経費計</b>	<b>20,747,682</b>
--------------	-------------------

<b>差引正味財産増加額</b>	<b>1,968,665</b>
------------------	------------------

当会では、会計および業務全体に関して監事による監査を受けています。またNPO法人の所轄庁である東京都に事業報告書等を提出し情報公開を行っています。

# 平成24年度ハイライト

## 【運営体制】

### ① 運営体制の変更・強化

- ・共同代表制への移行
- ・組織改編と運営体制の強化
- ・認定地域活動スタッフ制度の創設
- ・会員の活動に関する意識調査とデータベース化

## 【活動支援】

### ② ALIVE基金の創設

～より幅広い方による専門性の高い動物福祉向上のための活動の実現に向けて

## 【動物愛護法】

### ③ 動物愛護法改正運動

- ・請願を国会に提出ー約10万名の署名を提出
- ・野上前代表が環境省小委員会委員として具体的に提言し、動物実験と産業動物以外の主に家庭動物に係る規制強化等の部分については実現
- ・改正動愛法の施行に向けた政省令改正に向け提言

## 【家庭動物】

- ④ 全国自治体の動物行政に対する提言
- ⑤ 全国動物行政アンケート報告書作成
- ⑥ 迷子札ホルダー普及活動
- ⑦ 全国でペットショップチェックを実施

## 【動物実験】

- ⑧ 東工大に対する情報公開訴訟により文書の全面開示を実現
- ⑨ 実験用ニホンザルの繁殖供給(ナショナルバイオリソースプロジェクト)に関する調査
- ⑩ 学校において化粧品の動物実験の是非を考える勉強会開催
- ⑪ 毒性試験ガイドラインの調査・分析
- ⑫ 大学・企業の情報開示度に関する調査

## 【畜産動物】

- ⑬ 大規模採卵鶏施設に関する調査
- ⑭ 国内における畜産動物の流通に関する調査
- ⑮ 国内における毛皮の流通に関する調査

## 【動物園】

- ⑯ 八幡平クマ牧場のズーチェックと問題提起、その後、起きた死傷事件において情報提供・対策の提言
  - ・特定動物(危険動物)の飼育許可に対する規制強化について提言
  - ・秋田県庁に協力し、クマの処遇について方法を模索
    - 阿仁熊牧場隣地に福祉に配慮された飼養施設建設予定
- ⑰ 東山動物園のアジアゾウ導入計画の調査と提言
- ⑱ 全国の動物園でズーチェックを実施

## 【野生動物】

- ⑲ 種の保存法改正に関する政策提言
- ⑳ 生物多様性国家戦略の改定について提言
- ㉑ ウシガエル(特定外来生物)に関する調査

## 【普及啓発・協力】

- ㉒ 全国でパネル展・チラシ配りを実施
- ㉓ 改正動愛法に関する勉強会開催
- ㉔ 全国から寄せられる動物に係る事件/問題の際に協力

※平成24年度中から調査中のものがありますが、今後の活動に支障が出る恐れがあるため公表できないものがあることをご理解いただければ幸いです。

## 体制の改編・強化

野上前代表の体調悪化に伴い(その後ご逝去)、新体制に移行しましたが、これまでの代表に運営・活動のすべてが集中する体制を改め、各分野に精通したスタッフによる活動と運営を行う組織にすることで、計画・実行・検証を行いつつ多方面に横たわる動物問題に対応できるようにしてまいります。それに伴い急増する活動を支えていくことのできる組織にまいります。

### (組織改編に伴う主な運営内容)

- 中期活動計画の策定と実行
- 各スタッフの役割・責任の明確化
- 得意分野を活かした分業体制の構築
- 積極的なボランティアの活用
- 意識の高い会員との共同活動のできる体制構築
- 活動を支える資金力強化のための運動
- 具体的に達成した調査活動等の資料化による政策提言
- 調査結果に基づくシンポジウム/勉強会開催による普及啓発活動
- 調査活動に基づく資料を根拠としたキャンペーンの展開